

第3学年道徳学習指導案

日時 平成21年11月20日(金) 1校時
対象 3年生(男11名 女11名 計22名)
指導者 高山 純子

- 1 主題名 正しいことは思いきって(勇気 1-(3))
- 2 資料名 あと、ひとこと (学研 みんなのどうとく 3年)
- 3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第3章道徳の第3学年及び第4学年の内容の1「主として自分自身に関すること」の(3)に「正しいと判断したことは、勇気をもって行う。」とある。この内容は、正しいと判断したことは勇気をもって行い、正しくないとは判断したことは勇気をもってやめる子どもを育てようとするものである。これは、低学年の「よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。」をうけ、高学年では「自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。」に発展していくものである。

人が社会生活を営む中で、よりよく生きようとするためには、勇気ある態度で生活することが必要である。しかし、現代社会の中で人は様々な場面に出会ったとき、こうすることが正しいと思っても、自分の周りの条件や利害関係、誘惑などによって行動が左右されてしまうことが多いといえる。そこで、自他ともに認める正しい行いについてよく考え、周りの条件などに負けず、勇気をもって行動しようとする態度を育てることが大切であると考えられる。

この期の児童はギャングエイジと呼ばれるように、仲間意識がたいへん強い傾向がある。その集団の中では、強い言動の児童に引っぱられて、やってはいけないとわかっていながら、ついやってしまうことが多い。一緒にやらないことで仲間はずれにされてしまう心配もあり、勇気をもって行動することは難しいことである。

しかし、よいことと悪いことの判断ができるようになってくるこの期に、勇気に対するとらえ方やこれまでの体験をふり返り、様々な状況の中にあっても「よい」と思うことを貫き通すことができる心の強さを育てたい。

(2) 児童について

省略

(3) 資料について

主人公のぼくは友達から危険な遊びに誘われ、断るか一緒にやるべきか迷うが、少しだけ勇気を出して「自分はやらない。」と断る。ところが家に帰ると、友達が大げがをしたと母親から聞く。「危険な遊びを断ったことはえらかったが、少したりなかった」という母親の言葉に、反省や後悔の念が頭に浮かんできたという話である。

3年生の生活の中によくある題材であり、児童が自分の生活と関わらせて、勇気について考えるのに適した資料であると考えられる。

(4) 指導の態度

「気づく」では、ねむの木ノートを活用し、「よくないとわかっていても、ついやってしまったこと」を発表させ、誰にでも心の弱さがあることをおさえさせ、資料への興味を持たせたい。

「深める」では、友達の誘いを断ることはとても難しいことだと、素直な気持ちを出させたい。そして、家の人との約束を守り小さな声で断ることができた主人公にも共感させ、自分と重ね合わせて考えさせたい。「つかむ」では、教師が母親役になり児童と対話することにより、危険な遊びに誘われた時の自分の対応で「あと、ひとこと」何が足りなかったのかについて考えさせたい。

「広げる」では、自分の失敗をふり返り「勇気」についての考えが今までとどのように変わったか、ねむの木ノートに書くことを通して、しなやかに学ぶ心を育て、これからの実践意欲を高めていきたい。「まとめる」では、日常生活で見つけた勇気ある行動をゲストティーチャーの方に話していただき、「これからはあの子のように、自分も勇気ある行動をしたい。」という気持ちをもたせ、終わりたい。

これまで勇気についてわかっていたつもりの児童が、「真の勇気」について考え、勇気というものに対する感じ方が少しでも変容するような学びを促していきたい。

4 全教育活動における本時の位置づけ 3年 1- (3) 勇気

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校 / 学年行事	始業式 入学式 1年生を迎える会	交通安全教室 児童総会 運動会	縦割り遊び 誕生集会 参観日	終業式 防犯教室	始業式 学校参観日	児童総会	感謝集会 参観日 マラソン大会	連合音楽会 学校公開 誕生集会	終業式	始業式 誕生集会 学校参観日	スキー教室 参観日	六送会 卒業式 修了式	
各教科	体育「サッカー型ゲーム」 ・練習やゲームで友達と意見が食い違っても、正しいと思うことは丁寧な言葉で相手に伝えればよいことを知る。		社会「買い物調べ」 ・スーパーマーケットを見学する学習を通し、見学のマナーに気付き自分勝手な行動をする友達にきちんと注意しようとする気持ちをもつ。		理科「光を当てよう」 ・教室での実験や家庭での観察のきまりを守り、安全に学習しようとする態度を育てる。		図工「くぎうちトントン」 ・製作時に使用する道具の正しい使い方を覚え、まちがった使い方をしている友達には丁寧な言葉づかいで注意しようとする態度を育てる。		国語「モチモチの木」 ・主人公の豆太は病気のじさまを救うために、信じられないほどの勇気を発揮する。その勇気について思ったことを、豆太宛の手紙に書く活動を通して、勇気をもって生活しようとする態度を育てる。				
道徳の時間	指導要領の内容 1- (3) 正しいと判断したことは、勇気をもって行う。		第1時 (11月) 資料名 あと、ひとこと (学研) ねらい 正しいと思ったことは、誘惑に負けず、勇気をもって実行しようとする心情を育てる。 反省					第2時 (2月) 資料名 よわむし太郎 (学研) ねらい 正しいと思うことには、勇気をもって行動しようとする態度を育てる。 反省					勇気
総合的学習の時間			インターネットって何だろう ・ブラウザの正しい開き方を知り、情報モラルを守ってインターネットを使用することの大切さに気づく。		ぼくたち盛岡探検隊 ・盛岡の名産品などについて調べを進める中で、友達の調べ方について意見を述べたり、他のグループの協力の仕方で見つけたら注意したりしながら、正しい学習の仕方を学ぶ。			盛岡の伝統行事を調べよう ・地域に伝わる行事について友達と調べる時に、お互いにバランスよく作業を分担することができるように、自分の意見をはっきり言おうとする態度を育てる。					
特活・行事・日常生活	学級活動 ・友達の何気ない一言に傷ついたり勇気づけられたりしたことを、帰りの会で発表したり日記に書いたりして学び合う。		運動会 ・先生やお世話係の高学年がいない陣地で、自分がやるべきことを考え、しっかりと行動する。		連合音楽会に向けて ・指導してくださる先生の言うことをよく聞き、目標に気持ちが向かっていない友だちに勇気をもって注意しようとする態度を育てる。 ・学校を代表しての活動なので、本番の待機時や鑑賞時のマナーをしっかりと守ろうとする態度を育てる。			感謝集会 ・地域の方が自分たちのよくない行動を注意してくれることに感謝の気持ちをもつ。		登下校時 (年間を通して) ・友達と一緒に行動することが多いため、道路の歩き方や横断の仕方など、善悪をしっかりと判断し、交通マナーを守る。			
	ボランティア教育 (年間を通して) ・1円募金・ベルマーク収集の意義を理解し、自分ができる協力の仕方を考え、継続して活動しようとする気持ちをもつ。 ・遊びたい気持ちに負けずVS活動に参加し、友達とともに、よりよい環境の学校づくりをすることの心地よさに気づく。												

5 本時の指導

(1) ねらい 正しいと思ったことは、誘惑に負けず、勇気をもって行おうとする心情を育てる。

(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	期待する児童の反応	指導上の留意点 (◆仮説にかかわる手立て)
気づく 2分	1 友達の誘いを断れなかった経験を話す。 ○「よくないこと」とわかっていたのに友達に言われたからやってしまった、ということがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> 学校のろうかでおにごっこをした。 登下校時に寄り道をした。 児童センターで危険な遊びをした。 など 	◆事前に、ねむの木ノートに「よくないとわかっているのに、ついやってしまったこと」を書かせておき、誰にでも弱さがあることをおさえさせ、資料への導入を図る。
深める 20分	2 資料「あと、ひとこと」を読み感想を発表し、学習課題を確認する。 ○お話を読んで、ぼくについて思ったことを発表しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 最初、冒険ごっこを断ったら仲間はずれにされて、かわいそう。 自分が冒険ごっこを断った時に、「やめようよ」って言えばよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の感想をもとに、課題へとつなげていきたい。
つかむ 10分	3 「ぼく」の気持ちを中心に考え、話し合う。 ①友達にぼうけんごっこに誘われた時、ぼくはどんなことを思ったのでしょうか。 ②小さな声で友達の誘いを断った時、ぼくはどんな気持ちだったのでしょうか。 ③二人に意地悪な言葉を言われて帰る時、ぼくはどんなことを思ったのでしょうか。 ④お母さんの言葉を聞いたとき、ぼくはどんなことを考えたのでしょうか。	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">お母さんの言葉を聞いた時、ぼくはどんなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> おもしろそう。 やりたいけど、叱られる。 断りにくい。 どうしよう。 ぼくは、やらないぞ。 家の人との約束をやぶれない。 あぶないから、やらない。 いやだ、とは言にくい。 いくじなしじゃないぞ。 ばかにされていやだな。 腹が立つ。 そんなこと言わなくてもいいじゃないか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 勇気を出してやめさせればよかった。 友達を止められなかった。 これからは「やめよう」と言おう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 家の人に止められていることをしっかりおさえ、「こまったな。」と思っている主人公の気持ちに共感させたい。 仲良しの友達に誘われたので、少し考えてから小さな声で断ったぼくの気持ちに共感させたい。 小さな声でしか言えない心のゆれをとらえさせたい。 正しいことをしたのに、意地悪なことを言われる主人公と同じような体験をした児童に意図的に指名し、ぼくの気持ちに共感させたい。 友達に「へいの上を歩こう」と誘われた時にどう言えばよかったのか、教師との対話を通して考えさせ、ねらいとする価値に迫っていききたい。 教師との対話のあとで学級全体に返し、どんなひとことが足りなかったのか、きちんと確認したい。
広げる 10分	4 「勇気」についての考えを書いて交流する。 ○今日の学習をして思ったことを、ノートに書いてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> 自分も友達の誘いを断れないことが多いけど、これからは勇気を出して「やめよう。」って言える人になりたい。 危険な遊びをしているところを見たら、仲良しじゃなくても注意してあげようと思う。 	◆ねむの木ノートに記入してある自分の失敗をふり返り、「これからは勇気をもって正しいことを行おう」という実践意欲をもたせたい。
まとめる 3分	5 ゲストティーチャーの話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> 善悪の判断をし、勇気を出して行動していた例を児童センターの先生に話していただき、まとめたい。 (学校ではなく、規則にしばられない放課後の姿から、よい行いを褒めていただく。)

あと、「ひとりごと」

お母さんの言葉を聞いた時、ぼくはどんなことを考えたのでしょうか。

友達からぼうけん
ごっこに誘われる
場面の絵

「こんどは、ぼうけんごっこをしようよ。」

- ・おもしろそう。
- ・やりたいけど、しかられる。
- ・ことわりにくいな。
- ・どうしよう。

小さな声で誘
いを断る場面
の絵

「うん、おもしろそうだな。木下くんもやるよな。」

- ・ぼくはやらないぞ。
- ・家の人とのやくそくをやぶれない。
- ・あぶないから、やらない。
- ・いやだ、とは言いにくい。

二人に腹を立
てながら家へ
帰る場面の絵

「いくじなし、こわいんだろう。」

「しないのなら、いいよ。きみとはあそばないから。」

- ・いくじなしじゃないぞ。
- ・ばかにされていやだな。
- ・腹が立つ。
- ・そんなこと言わなくてもいいじゃないか。

友達が大げがを
した話を聞いた
場面の絵

「えらかったけど、でも、少したりなかったわね。」

- ・ゆうきをだして、やめさせればよかった。
- ・友だちをとめられなかった。
- ・これからは「やめよう。」と言おう。

正しいことを
ゆう気をもって

